

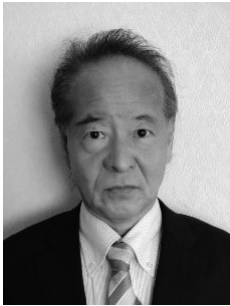
日本企業の国際ビジネスモデル

International Business Model of Japanese Companies

科目提供大学名	関西学院大学
担当教員	藤沢 武史（商学部 教授）他 5名
単位数	2 単位
最大授業定員	40 名
開講学期	前期 3 時限（15：30～17：00）木曜日（4月11日～7月18日）
成績評価	出席、平常テスト、レポートを組み合わせる総合評価を行う。
テキスト	特になし
参考文献	講義担当者から授業中に適宜、参考文献が紹介される予定
授業以外の学習方法	講義タイトルに合致したキーワードや内容関連記事を事前に検索されたい。
その他の特記事項	授業に毎回必ず出席することが講義内容の理解に一番の早道となります。
講義概要	本講座は、グローバル事業・競争環境の変容に対する日本企業の戦略的対応に焦点を当て、海外事業成功の秘訣に加えて、海外進出リスクや競争リスクを取り上げ、その対処策を提示します。日本企業が受入国内の企業・政府と利害対立した場合の問題解決方法を、製造、流通（商社）、金融など業種別に、かつ大企業と中小企業に分けて考察します。企業の経営戦略、国家の経済・文化・法律要因に加えて、地球環境適合という観点も織り交ぜ、企業の国内外での存続、成長、撤退の在り方を模索します。
到達目標	日本の製造企業やサービス会社が国内外で事業環境の変化に直面しても、それをピンチからチャンスに変えていくには、どのような経営戦略代替案を打ち出し、素早く実行に移すのがベストかを、毎回の講義で学びます。企業間競争で自社単独の勝利を目指すよりも、Win-Winの関係となるよう相互協調戦略を採択すると共に有利となる場合もあります。こうした競争か協調かを瞬時に判断する力を養うには、国内外競争ルール作りへの参画が欠かせません。業種を問わず、日本の大企業や外資系企業で勤務したい学生にとって実践に活かせる知識を蓄積できます。総合商社での豊富な海外勤務経験を有した講師陣が多いだけに、通常の専門講義では味わえない体験的学習が得られます。毎回出席を目指しましょう。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本企業のグローバル・バリューチェーン（藤沢 武史） 2. 自由貿易の進展と地域経済統合（元大阪商工会議所 麻野 良二） 3. 環境対策など SDGs の進展とビジネス（元大阪商工会議所 麻野 良二） 4. 国際ビジネス環境変化と中小企業の対応（元大阪商工会議所 麻野 良二） 5. 国際金融は大海原、国際金融を知る（元 Bank of America 鈴木 和巳） 6. 企業を取りまく国際金融リスクへの対応（元 Bank of America 鈴木 和巳） 7. 国際金融危機を考える（元 Bank of America 鈴木 和巳） 8. 自動車産業にみる日本の製造業と物流（元豊田通商 中西 功） 9. グローバル・サプライチェーンのリスクと展開（元豊田通商 中西 功） 10. 新しい社会に向けたこれからのものづくり（元豊田通商 中西 功）

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 11. 総合商社の歴史と活動概要 | (元伊藤忠商事 久米川 武士) |
| 12. 総合商社が抱える課題と生き残り策 | (元伊藤忠商事 久米川 武士) |
| 13. ビジネスのグローバル化と法 | (法律事務所弁護士 岡井 加女代) |
| 14. 総合商社とブランドマーケティング | (元伊藤忠商事 久米川 武士) |
| 15. 総括：日本企業の新国際ビジネスモデル | (藤沢 武史) |

「日本企業の国際ビジネスモデル」



1. 【代表】藤沢 武史（商学部 教授）

1988年から母校の関西学院大学商学部で国際マーケティング論を担当。主な著書『多国籍企業の市場参入行動』2000年、文真堂（2003年、日本貿易学会第1回学会奨励賞）、他。2016年4月～2018年3月に産業研究所長。現在、国際ビジネス研究学会常任理事、日本貿易学会理事（2005年6月～2007年5月、日本貿易学会会長）、多国籍企業学会理事、異文化経営学会理事。1997年4月～1998年3月、英国レディング大学にて在外研究員、他。

2. 関西学院大学商学部に入學した直後から、就職先として伊藤忠商事に憧れ、商社が関係する「貿易実務」と「貿易論」を真剣に学びました。ところが、大学2年次から

経済学と経営学の統合化を要する「企業の海外進出理論」の研究に取り付かれ、このテーマで研究したいと思い、教授職に就きました。理論的仮説を構築し、海外進出データの分析を行い、仮説検証するところも魅力の1つ。

3. 本講義の魅力の1つは、日本の総合商社などに勤務され、海外ビジネス経験豊富な方々を講師陣に迎えられたところにあります。国際ビジネス現象に詳しく経験値の高い講師の方々が、ケーススタディのために役立つ歴史的事例分析手法を提示し、現状分析にまで展開されるに違いありません。国内と海外の市場や事業活動の比較考察にも本講義の受講者は遭遇できます。受講されたら、講師の方々の海外事業経営の体験談を聞かれて、事業の成功に影響を及ぼし得る因果関係を導き出し、法則性を編み出すよう粘り強く究明してみてください。

4. 毎回出席を第1目標と定め、授業内容が理解しにくいと感じれば、即刻質問しましょう。



久米川 武士



鈴木 和巳



中西 功



麻野 良二



岡井 加女代

*講義順